

さまざまな同窓会の状況を学び!

●竜ヶ崎第一高校同窓会から会報をいただいて!
昨年7月15日に「同窓会の一般社団法人化」と

「同窓会奨学財団」について浦高同窓会事務局に視察に訪れた茨城県竜ヶ崎第一高等学校同窓会白幡同窓会から会報『白幡』(第37号、2025年12月)が届き、当日のやり取りが掲載されました。白幡同窓会では、役員の皆様が事務局の仕事も手分けして務められているようで、当日はさまざまな苦労話も伺わせていただきました。他校同窓会から法人化や奨学財団について事務局に



7月15日の午後、埼玉県立浦和高校の同窓会館を閉口会長外3名が訪問しました。浦和高校は今年の7月に創立130年を迎えた埼玉県内では最も歴史のある高校であり、その同窓会である「麗和会」は現在、一般社団法人並



浦和高校視察報告

トピック③

2025年(令和7年)12月発行

竜ヶ崎第一高白幡同窓会会報(第37号)

(18)



主に公益財団法人として様々な同窓会活動を実践しています。麗和会は長い歴史と伝統があるばかりでなく、未来を展望した先進的な同窓会組織として、他に類を見ない輝かしい実績をあげ続けています。現在白幡同窓会が抱えているいくつかの課題について、その活動実践から何か得られるものがあるのではないかとこの思いに駆られて浦和高校同窓会を、閉口会長、有川副会長、櫻井副校長と倉持事務局代表が訪問しました。私達のために貴重な時間を割いてくれたのは、香田寛美副会長、篠田雅彦事務局長、藤野龍宏事務局長次長のお三方でした。篠田様と藤野様は常勤扱いということでした。

(文責 倉持 正男)

- ① 浦和高校同窓会法人化のメリットとデメリットについて
 - ② 一般社団法人浦和高校同窓会の定款について
 - ③ 代議員(社員)の選出について
 - ④ 年会費(白幡同窓会では協力金に相当)の納付状況について
 - ⑤ 法人解散の条件等について
 - ⑥ 奨学財団の目的および運営について
- 詳細についてはここでは触れませんが、現在多くの同窓会が直面している④の年会費の納入率の低下については、麗和会も例外ではないということでした。
- 任意団体としてではなく、法人として白幡同窓会を組織運営できるかどうかを検討するのが主な訪問目的でしたが、現状での法人化の方向性はとても難しいと判断しました。今後白幡同窓会により良い在り方等について、さまざまな視点からねばり強く検討を重ねていきますので引き続きご支援をよろしくお願いたします。

[https://shirahata.sakura.ne.jp/37gou_kaihou/37gou.pdf より引用]

浦和高校同窓会「麗和会」ご来訪記

2025.1.16

左より篠田雅彦事務局長、香田寛美副会長

神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

うしお

第43号

会報誌「うしお」は、ホームページとご一緒に行われるようになりました

今年創立130年を迎える埼玉県立浦和高等学校は、学業のみならず文武両道をモットーに励む男子校、埼玉県に留まらず全国有数の進学校です。社会の中核で活躍する卒業生を輩出、その同窓会活動も充実しており、広く多方面に及び同窓生支援や社会貢献活動を行なっています。

その浦和高校同窓会麗和会事務局から鎌倉うしお会に来訪を希望する旨の連絡を頂きました。紙で発行している麗和会会報誌の今後を模索する中、全国の高校がデータ管理や各種発送を委託している株式会社サラト(うしお会も麗和会も利用)、その会報誌に載った記事「うしお会の会報誌電子化」を読んだのでした。

当日、香田寛美副会長・篠田雅彦事務局長が鎌倉までご足労下さいました。懇談では会報誌の紙から電子化への移行までの決定・周知の手順、費用の変化や会員からの賛否の有無など、うしお会での経験や課題・今後の改善点等をお伝えしました。

麗和会とうしお会では活動の規模が違いすぎて参考にはならなかったかもしれませんが、しかし終始真剣に聞いて下さった上に、主旨の会報誌以外の様々な活動への私達からの質問にも快くお答え頂き、私達にとっても学び多い時間となりました。

お申し出を頂いたおかげで、他校とりわけ県外の学校の同窓会活動を知ることのなかった私達にとっては良い機会を得る事が出来ました。麗和会様の今後益々のご発展をお祈りします。

[https://mozilla.github.io/pdf.js/web/viewer.html?file=https://storage.googleapis.com/studio-design-asset-files/projects/nBW20oKlqv/s-1x1_5aeb369a-707b-498b-8159-3add68f143a4.pdf 引用]

問い合わせが多いようですが、昨年はこちらからお伺いしたところもごございます。ちょうど昨年1月のことで、神奈川県立鎌倉高校同窓会うしお会にお伺いしました。

会員に向けて発行されている紙ベースの会報発送を止めてホームページ上での公開に踏み切られた状況、会員の皆様からの反応などを直接聞かせていただきました。浦高同窓会でも年間事業費の半分近くが会報発行費(印刷・郵送費)となっており、郵送費の値上がり等もあり運営上大きな課題でもあります。